

平成29年2月23日

113回目の開校記念日

校長 柳瀬充男



3月1日は、中野上小学校の開校記念日で、今年で113年目になります。

振り返ってみると、明治36年（1903）に、明治の初め頃に出来た「沖野々小学校」「木津小学校」「溝ノ口小学校」が合併して、「中野上尋常高等小学校」ができました。昭和16年（1941）には「中野上国民学校」という名前になりました。昭和19年（1944）には大阪市の国民学校の子どもたちが集団疎開してきました。昭和20年には戦争に敗れ、新しい学校制度が取り入れられ、昭和22年（1947）には「中野上小学校」と名前が変わりました。昭和30年（1955）には海南市と合併して、「海南市立中野上小学校」となり、現在に至っています。その後、校舎が鉄筋校舎になったり、プールが出来たり、特別教室棟、屋内運動場（体育館）、給食室が出来たりしました。皆さんのおとうさんやおかあさん、おじいさんやおばあさん、そのおじいさんやおばあさんの中にも、この学校で勉強した方がおられると思います。今まで多くの方が巣立っていった歴史と伝統のある学校です。学校の施設は古くなってきていますが、きれいに掃除をして丁寧に使っていきたいと思います。

さて、校長室には「至誠」と書かれた額を飾っています。明治末期に書かれた校規録には、校訓「誠」と書かれていて、誠とは、即ち君に対する誠「忠」、親に対する誠「孝」、他人に対する誠「愛」と説明されています。この額は、学校の宝として、大切に残されているものですから、6年生には、卒業前にじっくり見てもらおうと思っています。